



2026 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 三菱ケミカルグループ株式会社
代 表 者 名 執行役社長 筑本 学
(コード：4188 東証プライム市場)
[報道関係]
コーポレートコミュニケーション室
TEL. 03-6748-7140
問 合 せ 先 [IR 関係]
IR 室
TEL. 03-6748-7120

2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2026 年 5 月 13 日に公表しました 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想(2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	中間利益	親会社の所有者に 帰属する 中間利益	基本的 1 株当たり 中間利益
	億円	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想 (A) (2026 年 5 月 13 日発表)	18,610	1,390	1,430	980	590	43.43
今回修正予想 (B)	20,430	1,940	1,890	1,300	860	63.30
増減額 (B-A)	1,820	550	460	320	270	
増減率 (%)	9.8%	39.6%	32.2%	32.7%	45.8%	
(ご参考)前年同期実績 (2026 年 3 月期 中間連結会計期間)	17,991	1,261	865	1,425	1,101	79.66

税引前中間利益 前回発表予想 1,290 億円 今回修正予想 1,750 億円

注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な原因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

2. 業績予想修正の理由

当第 1 四半期連結累計期間においては、半導体関連製品の販売が好調に推移したことに加え、中東情勢の影響に伴い、ナフサ価格高騰による在庫評価益や、顧客の原料調達不安による一時的な需要増が発生しました。中東情勢の先行き不透明感が残るものの、当中間連結会計期間の売上収益及びコア営業利益以降の各段階損益は、ケミカルズ事業を中心に、前回発表の予想数値を上回る見込みとなりました。

なお、現段階では下期業績の見極めが困難であるため、通期連結業績について新たな予想は作成しておらず、前回発表からの修正はありません。

＜ご参考＞

セグメント別上期業績予想（コア営業利益）（億円）

	今回修正予想	前回発表予想	増減額
スペシャリティマテリアルズ	650	380	270
MMA&デリバティブズ	100	50	50
ベーシックマテリアルズ	120	△60	180
産業ガス	1,070	1,010	60
その他	0	10	△10
合計	1,940	1,390	550

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上